

部活動も再開



心配された部活動も学習の再開と同じように通常に近い状態で活動を再開しています。7月25日・26日には分散型県大会として、西諸地区大会が開催される予定になっています。

長い休業中に運動できなくて以前の調子を取り戻す事に必死です。それも中学時代のよき経験と思ひ出になると思います。与えられた時間で、どれだけ工夫し協力できるかが鍵となります。毎日、与えられている時間に感謝し、しっかり準備して大会で成果を！



◇「風」風は走る ちこくして いそいでいるかのように 遠くはしっている 風は歩く ねむくてねむくて うとうとしているかのよう ゆっくりと 風は休む へとへとになって 倒れこんだように ねむっている

◇日が当たり 洗濯物が 光り出す 春風リズム 踊り出しそと

「鎌田 美月」

生徒総会間近！

問われる生徒の自治力！



令和二年六月二十六日(金)は、生徒総会が開催されます。この生徒総会は、学級や専門委員会の話し合い活動を通して、全校生徒二十六名が生徒会の一員であることを自覚し、進んで須木中学校を発展

させるために設定されている、生徒にとって最も重要で貴重な時間となります。須木中学校で生活する生徒たちが、現在の学校の様子をどのように感じ、どこに向かっているのか、こうとして進んでいるのか、問われます。生徒会執行部を中心に、着々と準備が進められていますが、生徒総会前と生徒総会后の生徒たちの変容に期待しています。是非、自分たちの学校を誇りに思う気持ちを持って行動していきましょう。



五月二十一日(木)、全校生徒で校庭にサルビアと日々草の花の苗を植えました。小林秀峰高校の生徒たちが種から育てた大切な苗をいただき、中学生が引き継いで大切に育てます。

須木中通信



いものです。学校の伝統を創るのは生徒たち自身です。

毎朝の水やりも欠かさず行っています。生徒たち自身が生活環境を整えて、しっかり学ぶという姿勢が嬉しいです。体が育っています。

オンライン授業

新しい生活様式での授業の取組としてオンライン授業を始めました。地域にいても外部講師とICT機器を活用して授業ができるようになっていきます。二年生の「こすもす科」の先輩に学ぶ内容では、県立飯野高等学校の生徒の話を聞く事ができました。飯野高校のこれまでの素晴らしい取組と、それを周りに伝える表現力の豊かさに圧倒された感じもしますが、たくさんの刺激を受けたようです。新しい生活様式での充実した時間でした。

須木中学校
文責：佐土原

「おはようございます」

「おはようございます」当たり前に使っている挨拶の言葉である。先日、お店にいくと、店員さんから「おはようございます」と挨拶をされた。が、なぜかエッとちょっと待てよと違和感を感じた。というのは、店員が相手(私)の顔を見ておらず、その言葉に感情がこもっていなかったからである。

ある時のTVで放映されていた養老先生の言葉が思い出された。それは、授業での一コマまでのこと。先生が、透明な水の入ったグラスを持ちながら、これに赤色の液体を一滴まぜます。グラスの水の色が変わらず透明なままなのかどうかと問うと、生徒たちはポカーンとしていた映像。

ある学生が、「それは当たり前のことではありませんか」と答えた。そのことは何にでも言えることであり、挨拶の言葉でも何気なく当たり前に使っているが、「なぜだろう？」と思うことが大切だというお話だったような・・・

そう言われてみれば、私たちは、生まれた時から挨拶として「おはよう」を使っている。そう言えば、どんな意味があるのか、考えたことがなかった。ちょっと調べてみると・・・

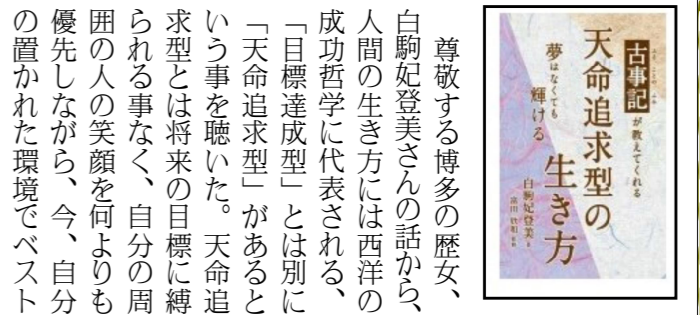
「おはよう」は、漢字で書けば「お早う」となる。「おはよう」の語源は、語源由来辞典によると「お早く〇〇ですね」などの「お早く」である。この「お早く」が転じて、「おはよう」になった。「お早くから仕事大変ですね」「お早くからいらっしやっていましたね」・・・相手への敬意を表すことばだそう。だから、「おはよう」は朝だけの挨拶だけではない。夜のお仕事や芸能界での挨拶が夜でも「おはよう」というのは理にかなっているのだ。

朝の挨拶を英語で言えばGOOD MORNING。これは、時間の区切りを表す言葉である。「いただきます」「もったいない」などの日本語は英語では表現できないと言う。まさしく「おはよう」もしかりで、その一言の中に相手を思い遣る心が詰まっているのだ。

当たり前に使っている言葉にも調べてみると深い意味がある。そして、当たり前の日常の中で大切な意味を見失ってしまっている自分を再発見した。

改めて、一つ一つの言葉を大切にしてみたいと思う。そして、言葉の中に込められている願いを考え直してみたい。

心を込めて、笑顔で「おはようございます！」



尊敬する博多の歴史、白駒妃登美さんの話から、人間の生き方には西洋の成功哲学に代表される、「目標達成型」とは別に「天命追求型」があるという事を聞いた。天命追求型とは将来の目標に縛られる事なく、自分の周囲の人の笑顔を何よりも優先しながら、今、自分の置かれた環境でベスト

を尽くす。それを続けていくと、天命に運ばれ、いつしか自分では予想もしなかった高みに到達するという考え方だという。そこでは、自分の夢だけを叶える「To me」より、周囲に喜びや笑顔を与えられる「To you」の精神、つまり志が優先される。これまで天命追求型、目標達成型という視点で歴史を捉えたことはなかったが、これから紹介するように、天命追求型はまさに日本人が歴史の中で培った素晴らしい生き方である事を教えてくれた。

「待になるために織田家の門を叩いた」という事になっていきますから、おそらく若き日の秀吉は、天下を取るなど考えてもいなかった。秀吉は徳川家康、織田信長と比べて大きく違う点があります。家康や信長が殿様を父に持つのに対し、秀吉は農家に生まれた事です。農民の子の秀吉が最初から天下統一を夢見たでしょうか。通説によると、秀吉は「侍になるために織田家の門を叩いた」という事になっていきますから、おそらく若き日の秀吉は、天下を取るなど考えても

いなかったに違いありません。しかし、秀吉の人生はその夢を遙かに超えてしまおうのです。ご存じのとおり、秀吉は最初、信長に「小者」という雑用係の立場で使えられた。雑用係は、もちろん侍の身分ではありません。けれども、信長が秀吉を雇い入れた時、きつと秀吉は、農民の自分に目をかけてもらった事に胸を躍らせ、心から感謝したのではないのでしょうか。だからこそ、たとえ雑用係の仕事にも自分できける工夫を施したのだと思います。寒い日の朝、信長の草履を懐に入れて温めてから出した話は有名ですが、草履一つ出す名ですが、草履一つ出すにも喜んでもらえるようなアイデアを加えたのです。やがて足軽となってからも信長を喜ばせたいという思いは変わらず、一層の信頼を得て侍に、さらに侍大将、近江国・長浜城の城持ち大名へと登り詰めるのです。

私のことを振り返ると、目標達成に突っ走っていた時は、確かに夢は叶いました。受験勉強、就職活動、子育て、すべてにビジョンを描き目標を立ててやってきました。しかし、見方を変えれば夢しか叶わなかったのです。夢を超えた現実はやってきませんでした。では、秀吉はなぜ夢を超えることができたのでしょうか。想像するに、秀吉は最初から天下取りなど考えず、いつも『今、ここ』に全力投球する生き方を貫いたからだと思えます。自分の身の回りの人たちに喜んでもらえる事を一杯やっていた。その結果、周囲の応援を得て次々と人生の扉が開き、天下人へと運ばれていったのではないのでしょうか。まさに天命追求型の人生だったのです。

「天命追求型の生き方」白駒妃登美

秀吉はなぜ夢を超えることができたのでしょうか。想像するに、秀吉は最初から天下取りなど考えず、いつも『今、ここ』に全力投球する生き方を貫いたからだと思えます。自分の身の回りの人たちに喜んでもらえる事を一杯やっていた。その結果、周囲の応援を得て次々と人生の扉が開き、天下人へと運ばれていったのではないのでしょうか。まさに天命追求型の人生だったのです。

7月の主な行事！

- 1日(水) 特別授業
 - ※ 東京都から特別ゲストをお招きしての特別授業を計画しています。
 - 2日(木) 高校説明会
 - 3日(金) 人権学習
 - 6日(月) 弁当の日、生徒集会
 - 7日(火) いのちの講演会
 - ※ 宮崎市から講師をお招きしての講演会を計画しています。
 - 8日(水) 眼科検診、家庭教育学級
 - 9日(木) 薬物乱用防止教室
 - 10日(金) 読み聞かせ
 - 14日(火) 参観日、奉仕作業
 - 17日(金) 英語検定
 - 21日(火) 中体連選手推戴式
 - 22日(水・27日(月)・28日(火)・29日(水)は 授業日になります。
 - 25日(土)・26日(日)は、中体連県大会分散(西諸地区)大会の予定です。
 - 30日(木) サマースクール
 - 31日(金) サマースクール
- ◇コロナ、熱中症対策をお願いいたします！

確かな学力・豊かな心・健康な生活・たくましく生きる児童をもち、

須木中学校区の教育目標

このように、改訂された「こすもす科」には、児童生徒を自立させたいとの思いが込められています。義務教育の九年間で、この「こすもす科」の学習を通して、二十一世紀に求められ

①「次」の三つになります。①「新学習指導要領に基づいた授業改善」②「キャリアプランニング能力の育成」③「社会的課題への対応」です。

①については、学習指導要領が改訂され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められています。こすもす科も、新学習指導要領の趣旨を受け、改訂されました。

②については、キャリア教育に関するアンケートから、小林市内のどの学年もキャリアプランニング能力が低いという課題が明確になりました。そこで、キャリアプランニング能力の育成に力を入れて取り組む事になります。

③については、児童生徒が置かれている状況から、ソサエティ5.0、超スマート社会など、変化の激しい社会の中で求められる能力の育成も目指していくべきだという考えから改訂されました。

小林市の教育目標である「学びたい」や「学ばせたい」「気持ち高く」を高めるために、小林市には他の地域にはない、特別な教科「こすもす科」が特設されています。

特別な教科 こすもす科改訂！



この「こすもす科」は、平成二十一年度から創設されていますが、社会の変化と今回の学習指導要領の改訂に伴い、この「こすもす科」も改定されました。

六月十一日(木)、小中PTA定期役員会を開催いたしました。表彰後、各専門委員(総務部・広報研

五月二十八日(木)に、全校専門委員会が開催されました。令和二年度初の委員会で、生徒たちは積極的に意見を発表していました。全校専門委員会で決めた努力目標の実現に向けて、生徒一人一人が自覚のある言動を心がけます。令和の時代に相応しい須木中学校の伝統を築いて欲しいです。自分の事をしっかりと、全体の事は責任をもって真剣に！



五月二十八日(木)に、全校専門委員会が開催されました。令和二年度初の委員会で、生徒たちは積極的に意見を発表していました。全校専門委員会で決めた努力目標の実現に向けて、生徒一人一人が自覚のある言動を心がけます。令和の時代に相応しい須木中学校の伝統を築いて欲しいです。自分の事をしっかりと、全体の事は責任をもって真剣に！

PTA役員会

全校専門委員会

命の週間！

七月一日〜七日は、宮崎県の「命の週間」です！この期間は、学校の中心に「命の教育」を重点的に取り組むこととなります。各学年で、この機会に「命の大切さ」を学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。

全校集会

六月十八日(木)、全校集会で「準備」について話をしました。色々の行事や出来事が開催(発生)しますが、常に真剣に準備を整えておくことが重要です。学校のと伝えました。生徒総会等の行事は、その準備を習慣化させる。最近、準備不足の生徒もいるように感じます。最近、準備不足の生徒もいるように感じます。最近、準備不足の生徒もいるように感じます。

この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。

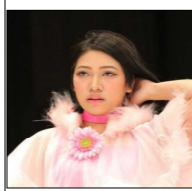
高校生、マスクホルダー贈る！

2人の男子高校生が区役所窓口で、「コールセンターの人たちで使ってください」と手紙と一緒に紙袋を置いていった。袋を開くと、手作りの「マスクホルダー」が30個。その出来栄は、職員が実際の商品だと勘違いしたほど。贈ったのは、都内に住む高校3年生の湯野さんと、石田さん。都立工芸高校インテリア科の湯野さんがデザインを手がけ、駒込高校に通う石田さんが製作に協力した。湯野さんは、数々の受賞歴をもつ実力者だ。昨秋には、台東区の「ザッカデザイン画コンペティション」に出品した革小物が「銀座松屋賞」に輝き、商品化も決まっている。「買い物や、食べて使っちゃうより、いいかなと思って」と湯野さん。「この状況でも全力で仕事をしてくれる人に、僕たちも何かしたいと思った」と行動した2人の高校生。「優しさ」に、涙が出ます」と担当者のコメント。



SNSリテラシー 「誹謗中傷はNG」

昨今、インターネット上での誹謗中傷は大きな問題となり、被害は年々拡大傾向にあります。先日も、人気プロレスラーの木村花さんがSNSによる誹謗中傷により22歳の若さで生涯を閉じるという衝撃的なニュースがありました。新型コロナウイルスの影響で自粛生活が長くなり、SNSを活用する事が多くなるとともに、リテラシーの問題が増加しています。匿名だからという軽い気持ちで行う書き込みやSNSでの発信によって加害者になってしまう人が増加しています。社会は、私たちの予想を遥かに上回るスピードで変化しています。便利で効率的になるとともに大切な「心」を失っているようにも感じます。全国的には、中高生が臨時休校中にLINEでのトラブルで悩んでいるという報告も増加しています。本校にも、SNSで友だちと繋がったり、情報を発信したりしている生徒がいるかと思えます。加害者や被害者にならない道徳心を！



この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。



この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。

この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。この機会に、命の大切さを学ぶ機会を設けて、命の大切さを伝える活動をします。

哲学的訓練創始者 行徳哲男
「自分自身としっかり戦おう！！」